

カウンセリング演習 I	単位数	履修方法	配当年次
	1	S (演習)	2 年以上
科目コード	FG3695	担当教員	末富 美貴ほか

※2017年4月より社会福祉学科学生も卒業要件単位に算入できる科目になります。

※上記にともない、科目コードを「FG3695」に変更します。ただし、福祉心理学科で2016年度までの単位修得者は昨年度までの科目コード「FG3685」のままです。

■スクーリングで学んでほしいこと

自分自身が人を援助する際に自分はどのような人間で、どのように人と接しているのか、自分の価値観や考え方に偏りはないかに気づき素直に認める自分があるかを認識してほしい所です。そのうえでカウンセリングの基本とされる「傾聴」の姿勢と技術を実践的演習とグループワークにより体感し、表現できることができるよう練習を課します。

■到達目標

- 1) カウンセラーの基本的態度について体験的に理解を深め、相手に伝わる態度を修得する。
- 2) 傾聴基本的技法を体得し、適切に活用できる。
- 3) 自分の態度、聴き方の特徴についてロールプレイ、グループワーク等でフィードバックしながら、気づき、またそれを認めていくことができる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	体験過程学習①	自己理解ワーク
2	体験過程学習②	グループワーク
3	体験過程学習③	傾聴基本的技法の演習
4	体験過程学習④	グループワーク
5	体験過程学習⑤	基本的態度と技法の応用演習
6	体験過程学習⑥	グループワーク
7	カウンセリングプロセスの理解	DVD視聴等
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

ロールプレイを行いながら、グループでの体験過程学習を行います。またグループメンバーでフィード

バックを行いカウンセリングの基本的な学習を行います。

■スクーリング 評価基準

授業への参加態度 20% + スクーリング試験 80% (指定テキスト・配布物・自筆ノート持込可)

■スクーリング時の教科書(「カウンセリングⅠ」などと共通)

日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング(産業カウンセラー養成講座テキスト)』日本産業
カウンセラー協会, 2013年 第3章

※「カウンセリングⅠ」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

■履修登録条件

この科目は「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録で
きます。

■スクーリング事前学習(学習時間の目安: 5~10時間)

テキスト第3章 傾聴の意義と技法 p. 39~p. 64 を一読してくること。

※「カウンセリングⅠ」スクーリングを受講していることが望ましい。

■スクーリング事後学習(学習時間の目安: 20~25時間)

傾聴の基本的態度を理解し技法に頼らず他者とのコミュニケーションで活かして行ってください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

心理実践力を身につけるため、とくに、「共感と自他尊重に基づくコミュニケーション力」を身につけ
てほしい。

■参考図書

小松 紘・木村 進編著『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』八千代出版, 2009年